Kyoto Tops　7月号増刊号

Y'S MEN'S CLUB　第25回西日本区大会

第25回西日本区大会実行委員長　髙坂　訓

2022年6月11日土曜日　岡山国際ホテルにて西日本区大会が開催されました。
いつもは旅行気分で参加し楽しむ区大会ですが今回の大会は新山理事ホストクラブとしてトップスクラブ全体で盛り上げる大会です、理事をはじめ一年間側近で支えてこられた河合書記、的場事務局長、巴山会計、今西会長の努力や時間を無駄にしないよう実行委員会では計画致しました。

コロナにより大会も従来のかたちでは進行できなくなりさまざまな改善と改革を取り入れました。

大会テーマはreborn始まりの地から　reborn:再生した、生まれ変わった。日本区が東西にわかれ東日本と西日本となり西日本区大会1回目が開催されたのが岡山県倉敷市です。
それから一度も岡山、瀬戸山陰部で開催されなかった事実に勢いを入れるべく理事が指定されたのが岡山でした！

大会内容を決めるにあたり一番の気苦労はコロナでした。今までの開催方法ではコロナ化の開催は難しくニューノーマルな方法で内容を委員会で日々検討しました。

ニューノーマル:新しい常態
ニューノーマルとは新しいやり方を元のカタチに戻せない、戻さない事が大切です、前日のリハーサルや当日早朝から岡山に来て頂いた皆様、それぞれの与えられた役割を果たして頂いたトップスクラブメンバーの皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

ギリギリまでリハーサルを行い皆んなの気持ちも途切れそうな時もありましたが本番では見事にオンタイムで進行頂きました、これこそまさしく個々の人間力の結集でした、新しく入会された方は初めての区大会参加で内容もわからない状況で困られた事と思いますが自分の役割を理解して協力頂き有難うございました、心から感謝しています。

来年西日本区大会は九州熊本で開催されます、次回は運営側ではございません、ゆっくりと熊本の街と大会を堪能して下さい。

最後になりましたがトップスクラブメンバーの皆様が区大会運営に協力頂き、新山理事、今西会長の為に頑張って頂いた事に御礼申し上げます。

西日本区大会参加者　488名　　WEB登録者　48名
ホストクラブ　京都トップスワイズメンズクラブ　　協力クラブ　岡山ワイズメンズクラブ
第25回西日本区大会実行委員会：実行委員長　髙坂訓　副実行委員長　本田正人　事務局長　倉卓也
副事務局長　清水寿和　書記　東剛士　幡山章浩　会計　田頭邦彦　鹿取俊志

＜　第25回西日本区大会への思い　＞

第25代西日本区理事　新山 兼司

2019年7月次々期西日本区理事候補者として内定。
私の期の理事キャビネットを選考し、2019年12月8日京都にて第1回目の顔合わせ会を開催しました。
理事方針及び第25回西日本区大会開催地を発表しました。開催地については、2022年ワイズメンズクラブ国際協会創立100周年・西日本区25周年になる年度となり、1997年7月西日本区として初めてスタートした岡山県を開催地として決め、原点に戻り、次世代に繋げ、次なる100年に希望を持てる大会になることを考えました。
キーワードは、音と光と映像・感動する・涙する、もう帰りたくない！！　大会を目指したい、、、私の凄いわがままを、物の見事に叶えてくれました。
西日本区大会高坂実行委員長はじめ、委員の皆様、トップスメンバー全員に感謝申し上げます。

振り返ってみますと開催地を決めた2019年12月8日は、世の中には新型コロナの言葉すら出なかった頃でした。その後、地の利ある岡山クラブ様に協力を求め、新型コロナに振り回され、最終、誰が開催することを決め、誰が責任を取ることまでの話が一時は出ました。全ての責任は、西日本区理事である私にあります、、、と伝え新型コロナの影響も考え、皆の意見も聞き、第25回西日本区大会（本大会）を単日開催することを決めました。
大会登録スタート時は、コロナ禍でもあり参加者がどのようになるか気にはしていましたが、私の中では、必ず500名近くの参加者は集まると確信していました。それは、京都トップスクラブが大会ホストクラブであるからです。
日本一の会員数を誇るクラブの西日本区大会は何かあると期待される皆様の思いです。
今大会は、参加された皆様に感動と活力を実感して頂き、歴史に残る西日本区大会になりました。
多くの参加を頂いた皆様と大会ホストのトップスクラブの皆様、協力クラブの岡山クラブの皆様、全ての皆様のお陰で素晴らしい第25回西日本区大会を終えることが出来ましたことに感謝を申し上げます。
有難うございました。

京都トップスの皆様、ありがとうございます！そしておめでとうございます！

第25回ワイズメンズクラブ国際協会西日本区大会では、京都トップスの皆様の力強い大会運営、おもてなしに大きな感銘を受けました。
この1年いや2年の間、コロナ感染状況の変化に伴い、何度も何度も計画の練り直しを余儀なくされ、また「Reborn」を示すための岡山での開催ですから、ホテルとの交渉、岡山クラブとのコミュニケーションなど、ご苦労も多かったと推察いたします。
それ故に、高坂訓実行委員長や今西宏樹会長を中心としたトップスの皆様の団結力はさらに強固なものとなり、新山兼司西日本区理事の感激の涙へと繋がり、大会参加者に大きな感動を与えたと思います。
単日開催で時間が限られた中、過不足なくしっかりとまとめて発表される事業主任や部長の報告が、寸分の狂いもなく整然と進む様子には驚きと共に感激しましたが、担当の方々の綿密な準備の賜物と感じ入りました。
表彰式では頑張ったクラブの授賞理由がとてもよかったと思います。京都トップスが最優秀クラブを受賞されたことは、誰も異論はないでしょう。トップス以上の働きをしたクラブはありませんから。新山理事は謙遜されながら発表されましたが、一番拍手が多かったと思います。
私は理事引継ぎの際にステージ上で転ばないかと心配していました。左足関節を装具で固定しているのです。挨拶の中で、故坂本忠幸ワイズの話をいたしました。実はこの話をする時には、練習であっても涙ぐみ声が詰まっていました。案の定、本番でも言葉が詰まってしまいましたが、泣くことはありませんでした。詳しい話はまた機会があればできると思います。

第26代西日本区理事
田上 正（熊本むさし）

これから西日本区のすべてのクラブが京都トップスクラブを目標に頑張り始めることでしょう。新山理事の決意「Reborn」は確実に我々の胸に響き、その決意と情熱を最優秀クラブ賞授与で示された実行力に私たちは火をつけられたのですから。
京都トップスクラブの更なる飛躍を祈念いたします。

西日本区大会を支えていただいたトップスメンバー全員に感謝申し上げます。
今回はタイムスケジュールが非常に厳しく、代議員会からバナーセレモニー集合までを如何にスムーズに行うか？そのためには第4回役員会、代議員会を予定より如何に早く終わらせるか？この役目は西日本区書記に掛かっており、幸いにも代議員会が予定より45分程度早く終わったのが良かったです。また、バナーセレモニーお立ち台で怪我人が出なかったのも皆さんの機転と前日に私が怪我したことで厄払いできたのではないかと思います！
素晴らしい思い出をありがとう！

第25代西日本区書記　河合 博之

「ありがとう、感謝！」

第25・26代京都部部長
中村隆司(京都ウェル)

京都トップスクラブの皆様こんにちは！京都部直前部長の中村隆司です、前期1年間お世話になり有難う御座いました。お陰様で6月30日をもって無事に部長の任期を全うさせて頂く事が出来ました。またこの2年間に及ぶ私の部長期に、京都トップスクラブの皆様には多大なるご支援ご協力を賜りまして心から御礼申し上げます。勿論大変な事も沢山ありましたが、本当に楽しく充実した2年間を過ごさせて頂きました。
そして何よりもこのコロナ禍の中で、何とか無事に西日本区大会を開催して頂けた事に感謝申し上げます。この区大会を開催させるにあたり、本当にご苦労された事と思います。我々京都ウェルクラブのメンバーも2年半に渡り京都部部会の準備をやってきましたので、どれだけ大変であったかは想像が付きますが、地元ではなく岡山での開催と言う事と、部会よりも規模が大きい事から我々とは比べものにならないご苦労があった事と思います。本当にお疲れ様でした。素晴らしい映像や演出、趣向を凝らしたプログラム等々、岡山での楽しい3日間を過ごさせて頂き、大切な思い出にさせて頂きたいと思います。
この1年間は例会にも沢山お誘い頂き、京都トップスクラブの皆様とはいっぱい交流をさせて頂き親睦を深めさせて頂く出来、まるで第2の所属クラブのようでした。そしていつ行っても温かく出迎えて頂いた事は一生忘れません。これからも「楽しくなければワイズじゃない！」の精神で歩み続けて行きたいと思いますので、引続きどうぞ宜しくお願い致します。ワイズの友情に感謝！！

皆さん、西日本区大会お疲れ様でした。無事、大きなトラブルや事故もなく終えることができ個人的には一安心しております。
振り返れば、約2年少し前に実行委員会として事務局側(WCC三役)が立ち上がり「基本コンセプトをどうするのか？」の話し合いから始まり、岡山の地で再度、原点に戻りワイズをいかにして盛り上げて行くのか？を、あらゆる角度から検討し、その結果が、今回の、西日本区大会の形となり、来て頂いたY'sメンやメネットの方々に喜んで頂けた結果になったのだと思います。
私の役割は副実行委員長と言う肩書きでしたが、どちらかと言うと危機管理委員長的な感じで、前向きな事への取り組みに対し、本当にそれで良いのか？といった様に斜めから物事を見て発言するような役回りだったかと思います。
そして、当初はコロナがどう転ぶかわからない状況だったので、開催直前に参加者が急に減った場合、内容をどう見直し開催すべきか？など常に考え、大会を開催出来ると確信が持てたのは開催10日前頃でした。
500人近くの人が集まり、開催する事が可能となってからは、いかにしてタイムスケジュール通りに進めて行くか？に注力し、当日を迎えた気がします。
当日の1番の課題でもあった、この大会をタイムスケジュール通りに運営出来るかどうかは、代議員会からの昼弁当の配給、バナーセレモニー出席者の部長&会長を、いかに早くスタンバイ席まで誘導することができるのか？がターニングポイントでしたが、この部分がスムーズに進行できたのは、河合書記のファインプレーであり、今回の成功への第一歩だったかと、私は思っています。
数年後、再度Top'sから理事輩出はあり得る事かと思いますので、今回の成功と反省をふまえ、更なるTop'sの力を貯めていければ良いかと思います！

副実行委員長
本田 正人

西日本区大会、皆さん本当にお疲れ様でした。まぁよく無事にやりきることができたなぁと、ホッとしてます。あんな規模のイベントで前日に岡山入りでリハーサル一回だけしかやっていなかったので不安しかなかったです。各持ち場担当者・メンバー皆んながそれぞれ責任を持ってアイデアを出し合い上手く対応出来たことが素晴らしかったと思います。とにかく大きなトラブル無く終わって良かったです。

実行委員会事務局長
倉 卓也

メンバーの皆様、こんにちは。西日本区大会ではお世話になり有難うございました。ホストクラブとしても素晴らしい大会でしたね。YOUTUBEを見てもその素晴らしさが分かりました。本大会で運営に尽力されたメンバーの皆様、スケジュールを巻いていただきまして有難うございました。すごく安心する事が出来ました。そしてマーシャル委員会の皆様、半日立ち尽くしていただき有難うございました。レンタカー乗られた参加者の方から「直ぐ分かったわ」、「駅に立っていただいてありがたかった」、「至れり尽くせりやな」、「今日は良いことが有るわ」、「早く到着出来て有難う」等始まる前から喜んでいただいていました。これが「おもてなし」ですね。受付のメンバーの皆様、配信映像担当のメンバーの皆様、SNS担当のメンバーの皆様、クラウドファンディング担当のメンバーの皆様、西日本区大会実行委員会の皆様、高坂実行委員長、感謝申し上げます。ありがとうございました!

実行委員会副事務局長
清水 寿和

先日の西日本区大会で幡山ワイズと共に西日本区大会実行委員会の書記を務めさせていただきました。
と言いましても、髙坂実行委員長をはじめとした中心メンバーにおんぶにだっこの状態で、恥ずかしながら準備の段階では担当のマーシャルの事すらも半分程度しか把握できていなかったと思います。
マーシャルは室外での案内が主な仕事ですので、若いメンバーを中心に構成させていただきましたが、相田ワイズ、岡田ワイズを中心に大変頼りがいのあるメンバーばかりで、各所の担当者にお任せできたので大変助かりました。
大会当日はバタバタとホテル内を走り回っており、大会参加者と直にお話しする機会はあまりありませんでしたが、後々聞いた話によると皆さんトップスクラブにお礼の言葉を伝えて帰られたとのことで、それを聞いて微力ながら協力できたことをとても嬉しく思いました。
またマーシャルグループの中で今までゆっくり話す機会のなかったメンバーさんとも共に仕事をできたことは良い経験となりありがたかったです。
マーシャルメンバーの相田ワイズ、稲田ワイズ、釆野ワイズ、岡田ワイズ、神谷ワイズ、河原Cワイズ、竹本ワイズ、辻村ワイズ、松井ワイズ、村山ワイズ、幡山ワイズ、ブッティワイズ　あらためてありがとうございました！

実行委員会書記　東 剛士

西日本区最優秀クラブ賞の受賞おめでとうございました。
私は書記を拝命し、実行委員会では東ワイズとレジュメや報告書を作成したりしていました。
ずっとこんなペースで大丈夫かなって心配していましたが、完璧な西日本区大会を実行した高坂実行委員長はじめトップスクラブの皆さんはすごいなと思いました。
半分くらいの方は、お前誰やねんとか、岡山クラブの人と思われていたかもしれませんが、また会えるといいなって思います。

実行委員会書記　幡山 章浩

2022. 6.11「 第 25 回 西日本区大会」が岡山国際ホテルにて開催 されました。
思い起こせば、約2年前 に「西日本区大会準備委員会」が発足され、当時はコロナ禍の中でしたので前向きな 打ち合わせができず、ただただ時間だけが過ぎて行ってたような感じでした。今年に入り急速に開催に向けての打ち合わせが進み、メンバー 一丸となり無事に大会を終了できたことに感動と安堵の気持ちとが重なり合ったような感じです。大会は終了いたしましたが、残り会計業務 が残っており、これが終了すればやれやれと 言う気持ちになると思います。メンバー 一人一人が役割に集中し、「第25回西日本区大会」を共有でき目標達成できた感動は、何者にも代えがたい価値あるものでした。メンバーの皆さん本当にお疲れさまでした。

実行委員会 会計　田頭 邦彦

今大会はコロナの影響で開催しても良いのか？参加者は集まるのか？という懸念で計画はスムーズに進まず予算も立てづらい状況が開催決定まで続いていました。
3月20日から登録が始まり4月中頃には400名以上の参加申込がありやっとこの時点でより良い大会が出来るな！と運営メンバーは感じられたのかと思います。
沢山のメンバーがいたからこそ大会の運営ができ、1人1人が役割を全うした事で無事に終われたのではないでしょうか。
皆様本当にお疲れ様でした。良い経験ができたので今後活かしていければと思っています。

実行委員会 会計　鹿取 俊志

以前アジア大会を京都で開催した時、高坂さんが広報委員長として出ていて、委員会メンバーとして選んでいただきました。委員会は他クラブの人と混合で、そこから私のワイズの楽しみ方が変わっていきました。その事もあり高坂さんには感謝していたので、区大会の実行委員会の声がかかった時は、嬉しい思いでしたし、微力ですが力になれればと思い、受けさせていただきました。プログラム委員長といっても何をするのか全くわかりませんでしたし、実際動きだしたのも去年の年末くらいだったと思います。そして他の委員会に比べて一番楽な委員会だったかもしれません(笑)。実際、当日の仕事は会長としての入場やバナーセレモニー、表彰式もあったので、大した仕事はできなかったのですが、ベテラン、若手関係なしに凄くまとまってるし、いい仕事してるなぁと思って眺めてました (笑)。正直リハーサルの時は、大丈夫かな、ちょっと怖いなーと思っていましたが、本番になると、出来すぎくらいバッチリ進行できてたのでトップスクラブすごー！とトップスクラブが誇らしくなりました。西日本区大会大成功という目標をみんなが目指し、それを成し遂げたことは、クラブにとって財産になると思いますし、まだまだこれからも発展していけると感じました。そして最後に、EMC最優秀と最優秀クラブ賞というご褒美までついてきて本当に最高の西日本区大会になりました！！その裏で、人知れずプレッシャーと戦って、素晴らしい区大会を演出した高坂実行委員長はさすがだなーと思いますし、それを支えた三役の皆さん、委員会の皆さん、本当にお疲れ様でした！！そしてありがとうございました！！

2021-22会長
(プログラム委員長)
今西 宏樹

第25西日本区大会開催地岡山での協力クラブを終えて

2021-22会長
高原 良子(岡山)

この度は、区大会の協力クラブという貴重な経験をさせて頂き、感謝申し上げます。

前夜祭でもお話させていただきましたが、令和元年8月に協力クラブとして開催地岡山に於いて、マーシャル・エクスカーション等のご依頼がありました。メンバーで観光地の情報集め・下見をしておりますうちに、各年度の区大会もコロナ拡散防止対策のため中止・縮小・配信となりました。日々の感染者数に一喜一憂しながら、そのうち収束を迎えるのではと考えておりましたが、願いかなわず単日開催となりました。準備委員会の方々が、新しい形でのライブ配信、そしてコロナ禍でホテルの対応能力が変化する中、感染への配慮をも考えキッチンカー導入等、また新しい試みとしてクラウドファンディング・SNS等ワイズの認知を考えての企画を次々と提案され遂行されたことに、頭が下がる思いでした。

この大会が行われた岡山国際ホテルの近くには明治期の慈善事業家で、日本の児童福祉の父の石井十次が創立した岡山孤児院があり、25年前に第一回西日本区大会が行われた倉敷アイビースクエアは、彼の事業を支援した大原孫三郎の倉敷紡績の工場跡です。この2つの地での両大会の開催にかかわることが出来ましたことに大きな意義を感じております。また、今回初めて企画頂いた開催地岡山へのファンドも、北長瀬コミュニティフリッジとなり先人たちの意を継ぐものとなりました。

新山理事の“Challenges for the future未来への挑戦”は、このコロナ禍でのニューノーマルな素晴らしい区大会で達成されたのではと思っております。そして、微力ではございましたがその一端を担わせていただいたことに改めて感謝申し上げます。

“Reborn 始まりの地から”を区大会の表題に掲げて頂き、岡山での開催となり、貴クラブと交流が出来ましたことを大変うれしく思っております。若い発想力・行動力・対応力等多くのこと学ばせていただきました。

今後、コロナ禍・ウクライナなど暗い世情ですが、平和と明るい未来を願い両クラブの良き交流と益々の発展を祈念いたします。

(岡山クラブのメンバー数も限られる中、瀬戸山陰部のご協力頂きながら出来るだけの協力をいたしたつもりではありますが、不手際・不行き届きな点が多々在りましたことお詫び申し上げます。)

登録委員長
河原 祥博

昨今ではすっかり薄影になり居るか居ないのか分からないゴーストメンバーと噂が飛び交っている西日本区大会登録委員長をさせて頂きました河原B祥博です。

最初にこの号外の紙面をお借りして申し上げさせて頂きたい事があります。登録の準備の95%を一言も文句も言わず完璧に段取りして頂いた加藤TOM CAT信一ワイズ長いワイズ歴から受付業務を効率よく回して頂いた森田献血茂実ワイズ、初めての参加で何も分からない状況で素晴らしいパフォーマンスをして頂いた高橋ゴールドコンビ保郎ワイズ、小林サブマリーナ保彦ワイズ、藤崎フォーチュン千秋ワイズ、受付業務において次々と良い段取りを示してくれた青山ルブタン修二ワイズ、受付をしながら当日集金のダブルで活躍頂いた田頭海外送金邦彦ワイズ、鹿取インスタ俊志ワイズ、そして最後に私の無理難題やパワハラ、モアハラ、セクハラの数々を全て受け入れ、宥めて修めてやり込めて(笑)無事に調教して頂きこの登録委員会をここまでに高めて頂きました担当三役倉ミルクボーイ卓也ワイズ。

この方々のキャパシティ、行動力、人間力と優しさが無ければ私は途中でドロップアウトしていたに違いありません。本番に強く素晴らし過ぎてヤバイチームです感謝申し上げます。

リアル開催&初youtube Live配信のゴーサインが出た瞬間から水を得た魚の様に全てが回り出し、携わる各メンバーのこの大会を成功してやるぞ！と言うオーラが漂い前日のリハ以上の本番をやり遂げた誰もが記憶に残る素晴らしい第25回西日本区大会が終宴いたしました。

元々他と比べても仕方ないこの様な奉仕団体の行う歴代の西日本区大会ですが間違いなくぶっちぎりでNo1！エモい！

WEB委員長
石田 博紀

6月、長らく準備をしてきた区大会を無事終えることが出来ました。2年前、はじめはWEB開設の担当として任命されておりましたが、コロナの影響もあり区大会の規模縮小することを余儀なくされ、予算カットの観点からWEB開設の取りやめが決定いたしました。それに伴い、会場に足を運べない方が続出するのでは？という事で、昨年12月に区大会をライブで配信する「中継委員長」に任命されました。区大会は岡山で開催されることもあり、岡山クラブの方に地元の映像制作会社「OMS」さんをご紹介していただき、打合せさせていただいておりましたが、コロナ禍でのイベント開催は予想がつかず、内容が2転3転する場面も多々ございまして、OMSさんには無理を通していただいた事を記憶しています。区大会当日、数週間前から感染者数の低下もあり、リアルで参加していただける方が多く、中継委員会としては複雑な思いでしたが、素晴らしい区大会を行うことができ本当に良かったと感じております。中継を希望された方の登録は49名でして、当日の最高視聴率はなんと！79.5%の39人でした‥。不具合で閲覧できない方への対応として、私の個人メールを設定しておりましたが、当日問合せは2人。これは登録委員会が懇切丁寧に説明文をメールしていただいたおかげだと思っておりますし、問合せ頂いた方は、区大会開始時間の13時から20時までフルで閲覧されたことを「現地には行けなかったが、大変楽しかったです」とのお言葉とともに、ご報告いただき、少しは役に立てたのかと思えることが出来ました。コロナのおかげで、少し悔いの残るところもありましたが、それはそれで、トップスメンバーと良い経験をさせて頂いた事を感謝しております。

皆様、本当に西日本区大会お疲れ様でした。感動で思わず「帰りたくない！」となる大会になったと思います。
さてこの度、西日本区大会を機にSNS委員長として旗揚げさせていただくこととなりました、吉岡です。
ワイズメンズクラブ西日本区を日本全国にアピールし、会員増強を目的にInstagramを運用していく予定です。
受け継がれてきた素敵な文化やこれから行われる素晴らしい活動を発信していきます。
皆様これからご協力のほどよろしくお願いいたします。

SNS委員長　吉岡 諒彦

クラウドファンディング
委員長　植浦基暁

新しく新設され、新しく挑戦した委員会でした。結果は予想どおりの反応にはなりましたが、やって良かったと思います。ワイズメンズは奉仕団体としての課題が沢山あり、高齢化、メンバー減少など、あと数年後には無くなるエリアも出てくる可能性があるかもしれません。京都にいるのであまり実感はないですが、日本全体ではかなりの衰退も考えられます。そんな中、高坂実行委員長より相談があり、このクラウドファンディングを実施しました。理由は1つ、ワイズの活動を多くの方に知ってもらう為です！直近で言うならば、ウクライナへの支援活動のような、マンパワーが必要な支援活動は今後のワイズでは厳しくなっていく事を考え、エリアや国に関わらず、オンラインで支援ができるシステムがこれからのワイズには必ず必要であり、意識をしないといけない対策だと感じます。今回のこの活動は今のワイズには少し早すぎたのかもしれませんが、そういう意味でも、スタートとして意味はあったと思ってます。外に目を向けると拡大している組織や団体は規模違いに沢山あります。ワイズがより良く拡大する為にも、内部で減少するクラブと競い合うのではなく、目標をもっと外部に向けていくべきだと感じます。

トップス力の結集により、岡山での西日本区大会が大成功した事は非常に良かったと思います。私は広報委員長として、去年の12月に任命されましたが、コロナにより各部の部会などのイベントが中止になるなど広報活動が、かなり制限されました。部会で広報活動出来たのは米子で開催された瀬戸山陰部の部会と京都部、びわこ部の部会だけでした。あとは西日本区の役員会や会長主査研修会などで、新山理事や理事キャビネットの皆様にご協力頂き広報活動をする事が出来ました。コロナの影響もあり、登録頂けるメンバー数が少ない可能性があり本当に予断を許さない状況でした。380人が損益分岐点人数だったので、それを絶対下回らないようにという強いプレッシャーがありましたが、新山理事やキャビネットの皆様のご協力のお陰を持ちまして、当日参加人数が488名とYouTube登録約50名とホテルの限界人数の500人に迫る登録を頂き広報委員長として大変嬉しく思います。
しかし、それ以上に焦ったのは前日や当日の朝のリハーサルではグダグダだったので、本当に大丈夫か？とメッチャ心配しておりましたが、本番では参加したトップスクラブメンバー全員がが集中して見事に大成功できた事は、何よりも嬉しく思います。トップスクラブは本当に素晴らしいクラブだと思います！

広報委員長
牧野 篤文

2年前から先頭に立って準備して当日の指揮をとってくれた高坂実行委員長はじめ実行委員会のメンバーの皆様新山理事や理事キャビネット役員の皆様、トップスクラブを会長として牽引してくれた今西会長、そして新しいメンバーを含めたトップクラブメンバーの皆様に心から感謝申し上げます。トップスクラブメンバーの皆さんは私の誇りです！
トップスクラブメンバー全員と大成功の祝杯の乾杯できるのがメッチャ楽しみです！大いに盛り上がりましょう！！

西日本区大会
ワイズ駐車場
YMCAをサポートする
岡山ワイズメンズクラブ